

2023 年 3 月 31 日
株式会社三菱 UFJ 銀行

株式会社センターポイント・ディベロップメントで「グリーンローン」を成約

株式会社三菱 UFJ 銀行（取締役頭取執行役員 ^{はんざわ じゅんいち} 半沢 淳一、以下「当行」）は、株式会社センターポイント・ディベロップメント（代表取締役 ^{よしかわ ようすけ} 吉川 陽介、以下「CPD」）がアセットマネージャーを務める物流施設「CPD 西宮北」の開発資金として、タームローン（以下「本ローン」）契約を締結いたしました。本ローンは、CPD が今回新たに策定したグリーンファイナンス・フレームワークに基づいております。当行がグリーンローンとして組成する、物流施設を特定資産とする開発型の不動産ノンリコースローンとしては、本件が第 1 号案件となります。

CPD は、2011 年に設立された物流不動産に特化した投資助言・資産運用会社であり、日本国内の物流不動産を対象として、徹底したデューデリジェンスによる用地取得から施設設計企画、開発およびリーシングまでのサービスを展開しています。これまでに延床面積約 30 万坪、開発コスト 1,700 億円超の実績を有しています。

CPD は、ミッションとして「施設開発を通じて効率的な物流を実現し、サステイナブルで安心安全な社会の実現に貢献」することを掲げています。CPD では、物流は生産者から消費者までをつなぐ重要な社会的インフラとして捉えており、CPD が手掛ける物流施設がこれらのインフラに関わる人々に対して有益な「結節点（センターポイント）」となるよう向き合っています。近年の案件においては、用地取得、施設設計、建設および運用の全てのフェーズにおいて、環境面および社会面の問題解決に寄与することが開発物件の提供できる便益の一つとなりうるとの考えを織り込んでいます。

本資金使途における設備資金は、十分な環境改善効果が見込まれ、且つ、環境面・社会における潜在的にネガティブな影響への配慮がなされているプロジェクトとしての確認がなされたものです。CPD のグリーンファイナンス・フレームワークは、株式会社日本格付研究所より、グリーンボンド・ローン原則への準拠について第三者評価（最上位の「Green 1 (F)」）を取得しております。

<本ローンの概要>

借入人	神戸ロジスティクス特定目的会社
契約締結日	2023 年 3 月 31 日
借入額	449.3 億円
第三者評価機関	株式会社日本格付研究所
貸付人	株式会社三菱 UFJ 銀行

< 本物件の概要 >

名称	CPD 西宮北 I、CPD 西宮北 II
所在地	兵庫県神戸市北区有野町有野字小堀畑 1971 番
用途	物流施設
敷地面積／延床面積	106,959 m ² ／239,611 m ² （予定） 55,067 m ² ／65,651 m ² （予定）
環境認証	CASBEE 認証 A ランク（取得予定）



CPD 西宮北 I（イメージ奥）・CPD 西宮北 II（イメージ手前） 外観完成イメージ

株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループは、「MUFG Way」の中で「世界が進むチカラになる。」を存在意義（パーパス）と定め、持続可能な環境・社会の実現に向けて、お客さまをはじめとする全てのステークホルダーの課題解決のための取り組みを進めています。引き続き、お客さまの ESG の取り組みを支援し持続的な成長を後押しすることで、環境・社会課題の解決に貢献してまいります。

以 上